

今年は2日間で  
12万に近い  
酒呑みが集まった!



新潟県酒造組合設立50周年記念事業として企画されたもの、ドイツ・ミュンヘンの伝統的なビール祭の祭典「オクトーバーフェスト」をモデルとして、地元の酒と食を楽しんでもらう一度限りのお祭りとして開催された。しかし、蓋を開けたら、参加者5万人超という盛況ぶり。続けてほしいという声に込めていたら、早11年、気がつけば、新潟が誇る日本最大級の酒祭りに成長した。年々増える参加者は県内に限らず日本全国から、近年は海外からもやって来るようになった。

「酒の陣」も進化してきた。会場では緑日の出店さながらに新潟産材を使った食ブースが並び、ステージ上では古町芸妓の舞や利き酒チャレンジ大会が繰り広げられる。セミナー室では利き酒セミナーや英語による日本語セミナーなど、多彩なプログラムが実施され、学びの場としても飽きさせない。併設した会場では酒通を自負する人たちが「新潟清酒通人検定」に挑戦する。2008年にスタートした検定試験で、成績に応じて「金」「銀」「銅」の称号が与えられる(ちなみに最難関の金の達人合格率はたった12.3%)。

楽しい酒人は人を驚かす。「酒の陣」の会場で、盃を傾げる見知らぬ隣人と盛り上がり、酒友達になったというのによく聞く話。もちろん、蔵元と参加者とのコミュニケーションもそこかしこでテンション高く育まれる。みんな類



新潟の日本酒は  
いかがですか?

オンナひとり、  
ときどきふたり飲み

沼由美子  
交通新聞社 1296円

羽田空港の展望デッキで生ビール、小石川後楽園の茶屋飲み、青山のバーで白昼のエスケープ。仕事や散歩ついでに軽く一杯、女子(オンナ)が息抜きできるスキマ飲みの極意が満載。今日からすぐに使えます!

大坊珈琲の  
時間

大坊勝次・キムホノ  
自由空間 2700円

「大坊珈琲店」が開店して1年半。陶芸家のキムホノさんは大坊勝次を埋めるため、大坊さんとのことを一冊の本にまとめようと思いつく。大坊恵子夫人も登場。珈琲とはまた違った味わいの本が出来上がった。

ニッポン  
「酒」の旅

山内史子  
洋泉社 999円

一週間に日本酒1斗を飲み干し、「いってちゃん」の異名を持つ著者が案内する酒旅指南書。北は青森から南は沖縄まで。地元で愛される蔵を現場(居酒屋)でひたすら飲む。飲める酒蔵、飲める鉄道の情報も。

## 02 BOOK

# dancyu

Love & Laugh Topics

2015 June vol.30



日本酒の魅力を  
「酒の陣」で  
体験しよう!

86の酒蔵が集合!



3月14日と15日の2日間にわたって開催された「にいがた酒の陣」。会場となる朱鷺メッセの入り口には酒樽がずらりと並び、来場者をお出迎え。日本一の酒蔵の数を誇る新潟。今年、参加した酒蔵は86蔵と、果たして一日ですべてのブースを回り切れるだろうか、よほどの酒呑みであっても、心もとない数。さすがに一日では無理でも、2日かけて完全制覇を成し遂げる猛者もいるという。あっぱれ!

# 01

なぜ「にいがた酒の陣」は  
日本一の日本酒イベントに  
なったのか?

文・尾畑留美子(「真野鶴」 五代目蔵元)

**新** 湯沢から車で約10分の場所にある朱鷺メッセ。日本側最大級の規模を誇るコンベンションセンターが、3月14日と15日の2日間、日本酒ファンで埋め尽くされた。今年で11回目を迎えた「にいがた酒の陣」。新潟清酒業界が総力を挙げて行なう一大酒祭りである。

14日の朝、朱鷺メッセの前には「酒の陣」開催を待ちわびた人たちの列が建物からあふれ出し、遅か彼方まで続いていた。10時の開場と同時に人の波が場内に吸い込まれていく。静かだった会場がたちまち熱気に包まれ、蔵元の一人として自分のブースに立っていた私の緊張を吹き飛ばしていった。

「酒の陣」のシステムは至ってシンプル。入り口で試飲チケット(前売2000円、当日2500円)を、オリジナルの利き猪口と和らぎ水(ペットボトル)に交換する。会場内には新潟の蔵元ブースが並び、そこでお酒を自由に試飲できる。多くのブースでは蔵元目らがおもてなしを受け持ち、手ずから猪口にお酒を注ぐ。今年、蔵元ブースの数は86。試飲できるお酒の数は50



会場内には特設ステージが設けられ、新潟美人が出演する蔵元HAPPYファッションショーや利き酒大会、古町芸妓の舞(写真)を有にまた酒を飲む。

被り物なしで法被を羽織った女性が「真野鶴」五代目蔵元の尾畑留美子さん。日本酒のこと、新潟のこと、自身の蔵のことを真摯に考え続ける日々。「酒の陣」では会場内を東西の2日間だつた。



被り物も  
かわいい女子も  
ウエルカムです!